

成田市職員ワークショップ

実施報告書

(1)開催概要について

- 総合計画「NARITAみらいプラン」第2期基本計画の策定過程に職員参画を図り、本市の政策形成の担い手となる若手職員の柔軟な発想と、豊かな感性を活かした、多様な意見を取り入れるため、下表のとおりワークショップを開催しました。

タイトル	成田市職員ワークショップ
目的	行政の担い手としての視点から、市政の方向性を検討するとともに、職員の政策形成能力の向上を図る。また、本市を取り巻く社会経済情勢の変化や、今後想定される課題、次期基本計画の策定過程について学ぶことで、職員の総合計画に対する意識の醸成を図る
開催日時	平成31年4月26日（金）14：00-17：00
場所	成田市役所6階 大会議室
対象	成田市職員（各課1名（原則として、主査または副主査級）
参加者数	56名



(2)実施方法について

- 総合計画「NARITAみらいプラン」における、将来都市像実現に向けた6つの基本方向ごとにグループ分けをし、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いを行いました。
- 各ラウンドごとに出た意見やアイデアを付箋に書いていただき、グループ内で感想を共有しました。
- グループごとにまとめた、2027年の理想の成田の姿について発表を行いました。

【基本方向】	【グループ】			
住環境	1-1 1-2			
保健・医療・福祉	2-1 2-2			
教育・文化	3-1 3-2			
空港・都市基盤	4-1 4-2			
産業振興	5-1 5-2			
自治体経営	6-1			

第1ラウンド

グループごとに割り当てたテーマ（基本方向）における、施策や事業の、普段業務を行っている中などで感じている、「良いところ」、「不足しているところ（課題）」を抽出。

第2ラウンド

グループ内で出た意見を話し合い、集約するとともに、課題の解決や、施策や事業の実現のためにどうすべきかを話し合う。

第3ラウンド

これまでの意見を模造紙にまとめるとともに、成田市総合計画の最終年度である、2027年の理想の「成田」の姿について発表。

(3)グループ意見

■ 基本方向 第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

【グループ:1-1】

未来の成田は、

「**市民にとって身近な空港のあるまちなりた、市民自ら問題を解決しようとするまちなりた**」

○グループ意見

(1) 道路を整備するなど、インフラ整備を行う。タブレットの支給等ICTを活用した周知活動に努める

- ・道が狭かったり、防災関係の情報が行き届きにくいと感じるため、インフラ整備を行い、情報化を図るためにタブレットの支給等、ICTを活用した周知活動を行えば

(2) 空港に隣接する防災機能を備えた複合施設を作る

- ・市民にとって成田空港の存在は大きいですが、飛行機の利用以外で訪れることは少ないため、防災機能を備えた複合施設を空港に隣接した場所に作ってはどうか。また、太陽光を活用した発電システムを活用し、災害時の避難場所としても活用できれば良いと思う

(3) インセンティブの付与による市民の問題意識の醸成を図る

- ・市民の防災に対しての問題意識が薄く感じるため、なんらかの形でインセンティブを付与し、問題意識の醸成ができれば

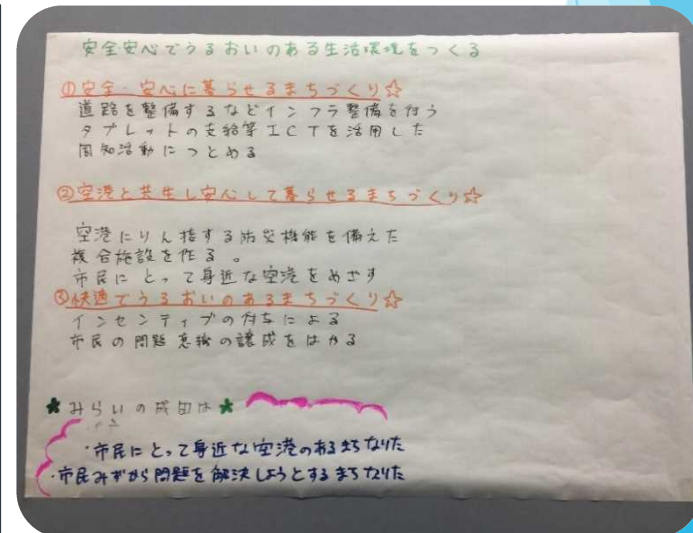
○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ

- ・避難所の整備が自治会で積極的に行われている
- ・防災に対する啓発を積極的に行っている
- ・災害時の各種協定を多くしているので、災害発生時に強い
- ・道路工事が多い(整った道路が多くなる)

課題

- ・市外在住職員が多いため、災害時の対応が不安
- ・外国人への災害に対する啓発が少ない
- ・補助対象となる工事の内容が決まっており、家ごとに柔軟な工事が行えないとの意見がある
- ・処理許容量を超える廃棄物がある



(3)グループ意見

■ 基本方向 第1節 安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる(住環境)

【グループ:1-2】

未来の成田は、

「**全ての市民が同じ水準で生活を送れるようなサービスを受けられるまちづくり**」

○グループ意見

(1) 災害協力協定の締結を推進する

- ・災害が起きた際にどう対応するかが問題となるため、災害協力協定の締結を推進する

(2) 成田空港の機能強化に伴う、生活環境の悪化に対する住民サービスの向上

(3) 生活弱者へのサービス強化、電動自転車への助成金

- ・生活弱者が、どのようにしたら市内主要地に気軽にアクセスできるようになるかが課題と感ずるため、電動自転車への助成金の交付などはどうか

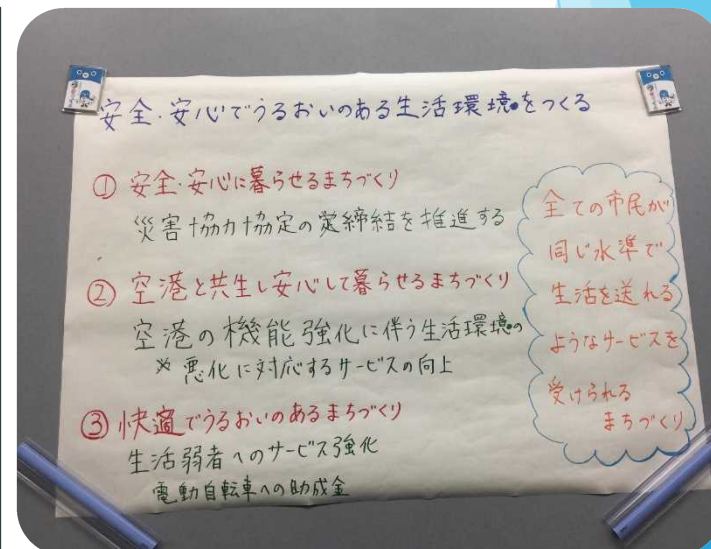
○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ

- ・学校・運動公園が点在しているので、近くに避難所がある
- ・市営水道地区は管路の耐震化が進んでいて災害に強い
- ・他市にはない無料のドッグランがある
- ・下水道の整備が進んでいる

課題

- ・古い街並みをセールスポイントとしている反面、古い建物が多いため、地震や火災に弱い
- ・騒音防止関連の助成金の強化
- ・清掃工場でのごみ処理が追いついてない



(3)グループ意見

■ 基本方向 第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

【グループ:2-1】

未来の成田は、

「**出生率が2を超えます！健康寿命全国1位に！**」

○グループ意見

(1) 住民のニーズに合わせた子育て支援施設をつくる

- ・成田市は保育に関する施設が充実しており、収容量も多い一方、待機児童が発生してしまっている。箱モノを増やすだけでなく、住民のニーズに合わせた子育て支援施設の整備が必要では

(2) 子どもからお年寄りまで、包括的に支援できる場所を各地域につくる

- ・高齢者が安心して生活できる体制として、地域に福祉の拠点となる場がないように感じる。また、障害のある方などが、移動の際にケアが必要な場合、一貫して相談支援できるような体制がとれていないようにも感じるため、子どもから高齢者、外国人の方も含め包括的な支援が地域ごとにできる環境ができればいいと思う

(3) 交通手段を整備して、高齢者等が外出できる機会をつくる

- ・高齢者の移動手段が少ないことが課題である

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ

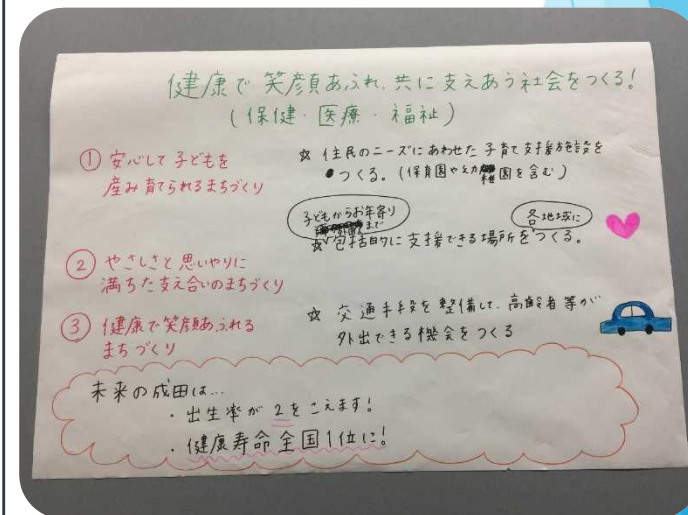
- ・保育施設の種類が多い
- ・発達に遅れがある児童のサポートがある
- ・子育てについて相談できる場所がある
- ・高齢者の活動できる場所が多いように感じる

課題

- ・待機児童がいる
- ・保育施設の設備の差が大きく、一部老朽化が著しい
- ・医療ケアを必要とする子の受け入れ態勢が整っていない
- ・高齢者の移動手段が少ない

改善点

- ・ニーズに合わせて施設設備をしていく (統廃合を含む)
- ・包括的な支援をできる場所をつくる



(3)グループ意見

■ 基本方向 第2節 健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)

【グループ:2-2】

未来の成田は、

**「共働き・子育てしやすいまちランキング1位、高齢者が活躍し、
住みやすいまちランキング1位、健康寿命ランキング1位」**

○グループ意見

(1) 施設の整備だけでなく、ソフト面の子育て支援策の充実

・市の現状として、保育施設が充実していたり、保育士の処遇改善に取り組んでいるなど、子育て環境として良い面がある一方、中心市街地とそうでない地域の地域格差があるように感じる。ハード面だけでなく、ソフト面の子育て支援策の充実が必要

(2) 将来的に利用されなくなった保育所等を介護施設等へ転用することを推進。移動手段確保のため、住民同士の助け合いを促進。世代間の同居を促進。外国人介護人材の活用

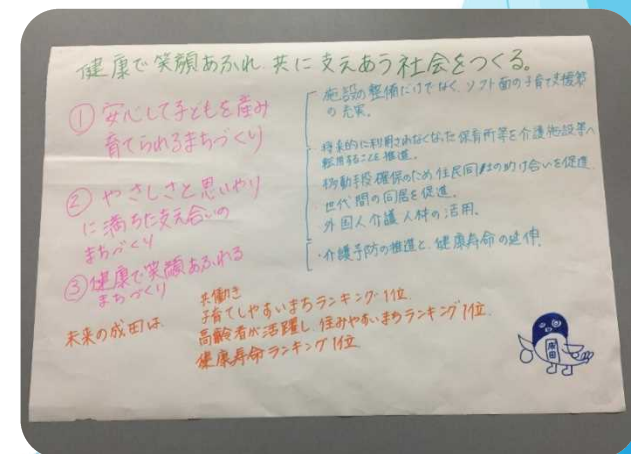
・今後の人口減少社会を見据え、使用しなくなる保育施設等の活用方法等も検討していく必要がある
 ・高齢化が進んでいる中で、地域の見守り活動が衰えている
 ・介護の担い手不足については、外国人人材の活用を推進する

(3) 介護予防の推進と健康寿命の延伸

・市内に病院が多く、また、国際医療福祉大学の開学・附属病院の開院など、医療体制の充実が図られている一方、医療費の増大が問題となる。介護予防の推進や健康寿命の延伸に向けての取組みを実施する必要がある

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについて相談しやすい体制が整っている ・子ども向け、高齢者向けのイベントが充実している ・各地域に包括支援センターがあるから相談しやすい ・医療体制が充実しつつある
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、地域の見守りの力が衰えてきている ・高齢者の移動手段が不足している ・要援護者への災害時支援が機能するか不明 ・医療費、介護費が増大し続けている
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設を、ニーズが増える介護施設等への転用を推進 ・移動手段確保のため、住民同士の助け合いを促進するための補助を



(3)グループ意見

■ 基本方向 第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

【グループ:3-1】

未来の成田は、

「外国人満足度全国1位！！子どもからお年寄りまで文化・スポーツを楽しめるまちづくり！！」

○グループ意見

(1) ICT教育を推進して、未来に通用する人材をつくる

(2) 施設とイベントを統廃合し、活動しやすい環境をつくる

・スポーツイベント・施設が多すぎるように感じる。施設の老朽化も問題。統廃合を検討しては

(3) 資料や看板を多言語化し、外国人の住みやすいまちをつくる

・成田市は国際交流が豊かで、外国人も多いが、市内ではまだまだ多言語化の対応が少ない。外国人の住みやすいまちづくりを

○付箋意見（一部抜粋・原文ママ）

良いところ

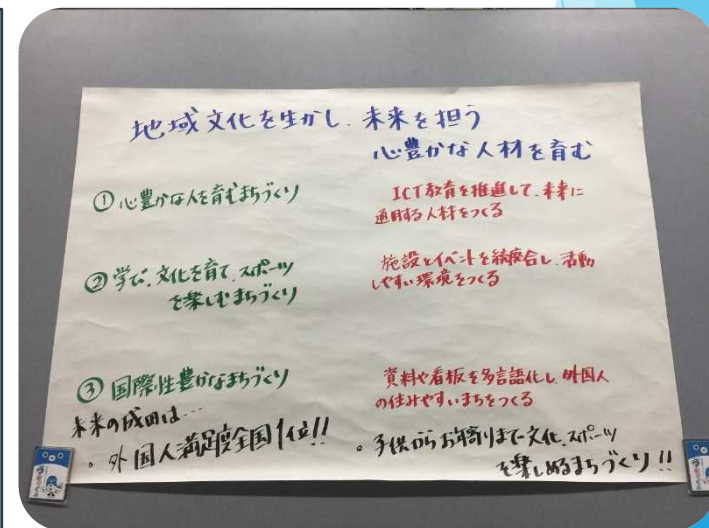
- ・小中学校のICT化が進んでいる
- ・社会教育施設が多い
- ・イベントが多い
- ・国際交流が活発である

課題

- ・施設・器具の老朽化
- ・社会教育施設利用者が減少
- ・外国人への配慮不足

改善点

- ・施設の統廃合
- ・イベントの統廃合
- ・資料の多言語化



(3)グループ意見

■ 基本方向 第3節 地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む(教育・文化)

【グループ:3-2】

未来の成田は、

「世界の住みたい街ランキング1位！！」

○グループ意見

(1) 学校運営の効率化を図り、子どもに向けられる目を増やす

- ・働き方改革など言われているが、現実的に学校の教職員の業務量は非常に多く、子どもに目を向けられる時間が少ないように感じる。業務委託を検討してみてもどうか

(2) 施設や各種イベントを見直し、新たな文化を生み出せるイベントを提案する

- ・文化施設が多く、イベントも多いが、毎年同じことを繰り返しているようにも感じる。毎年見直しを行っていく必要があるのでは

(3) 成田で暮らす外国人の日本語サポートの強化

- ・成田に住む外国人の方への言語等のサポート体制がまだまだできていない。日本語を教えられる多言語の方を探すのも大変なため、業務委託などでフォローできれば

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ

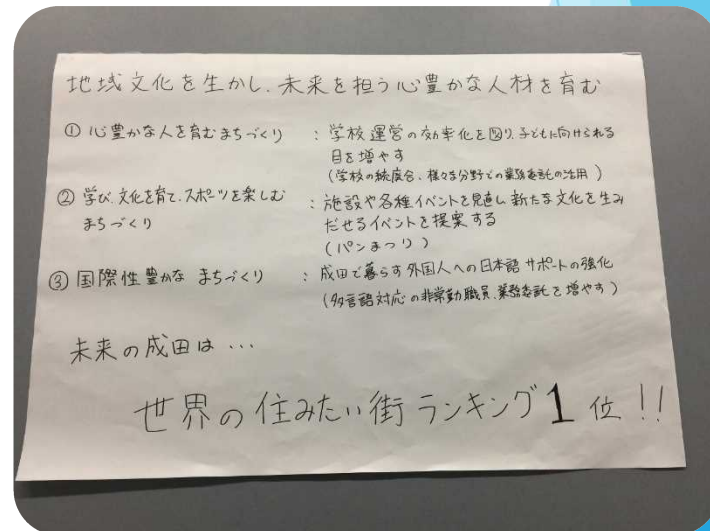
- ・他市に比べて非常勤が充実している
- ・市民の学ぶ機会が充実している (施設も含めて)
- ・イベントが多くあり、みんなが楽しめて多くの人が集まる

課題

- ・文化、教育施設へのアクセスが悪い
- ・学校現場での教員の不足
- ・成田で暮らす外国人への日本語サポートの強化
- ・日本語以外を母語とする子どもへのフォローが不足

改善点

- ・学校の統廃合
- ・業務委託の活用 (プール管理、クラブ活動の指導員)
- ・日本語サポートできる人員を委託や非常勤で増やす



(3)グループ意見

■ 基本方向 第4節 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる (空港・都市基盤)

【グループ:4-1】

未来の成田は、

「**空港・成田山・JR・京成・市・等の関係機関全てを巻き込んだ、未来の成田のまちづくり**」

○グループ意見

(1) 空港利用客が夜も楽しめる表参道づくり (仕事で来成した人たちにも成田観光してもらう)

- ・ビジネスなどで空港を利用する方々が、仕事終わりに観光に訪れるよう、ナイトスポットとしての表参道を作っていければ

(2) 市街化区域の見直し。JR・京成・市の3者で駅周辺の整備を行う。公共性の高い機関(年金事務所、保育園など)をスカイタウンに集める。インフラ系の整備・修繕計画の見直し

- ・空き家問題がある中で、市街化区域などの見直しを行うことで、制度的に是正していければ
- ・スカイタウンの空き店舗を活用し、公共性の高い機関を誘致することで、施設の活性化を図る
- ・道路整備等、インフラ系の整備については時代にそぐわない計画が多々あるため、次代に合った整備計画を考えていく必要がある

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ

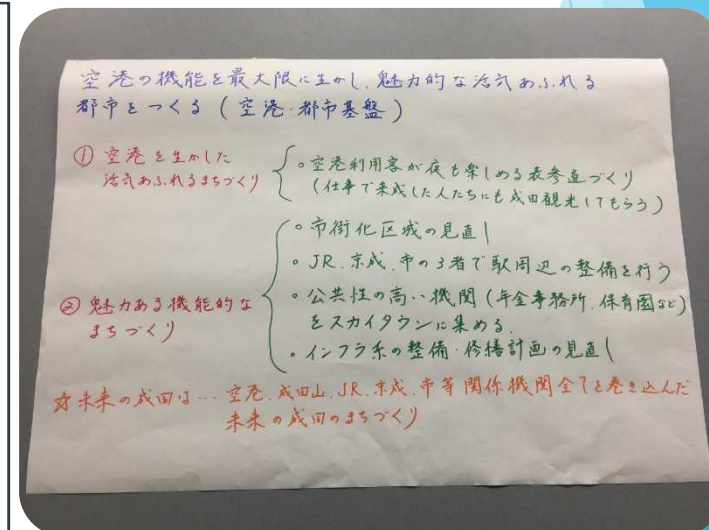
- ・成田市全体が外国人にわかりやすい表記、表現、物を多く使用している
- ・北千葉道路整備によるアクセス増
- ・圏央道整備による経済効果

課題

- ・トランジットツアーを充実させたい
- ・空港周辺の一部道路における、未整備箇所が存在する(歩道がない等)

改善点

- ・空港利用客が夜も楽しめる参道(観光地)をつくる
- ・整備・修繕計画の見直し



(3)グループ意見

■ 基本方向 第4節 空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる (空港・都市基盤)

【グループ:4-2】

未来の成田は、

「ふとした瞬間に訪れたくなるまち。そうだ、成田へ行こう」

○グループ意見

(1) 空港通りの賑わいの創出。市場の活用。航空ネットワークを活用したまちづくり

- ・ 空港通りには駐車場やホテルしかなく、賑わいに欠ける。空港利用者が市内に車等で訪れるときに通る道なので、もう少し賑わいのある通りになれば
- ・ 新生成田市場は空港からのアクセスが良く、優位性があるため、成田に人を呼べるための方法を検討する必要がある

(2) 大学病院を活用した魅力あるまちづくり

- ・ 国際医療福祉大学の附属病院が開院することで、そこで働く人や医療関連産業が増える。魅力あるまちづくりが必要だと思う
- ・ 他自治体では、70歳以上の方に無料でバスに乗車できるパスを発行しているところもある。高齢者は車を手放したら移動手段がなくなるので、生活に支障が生じる

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ

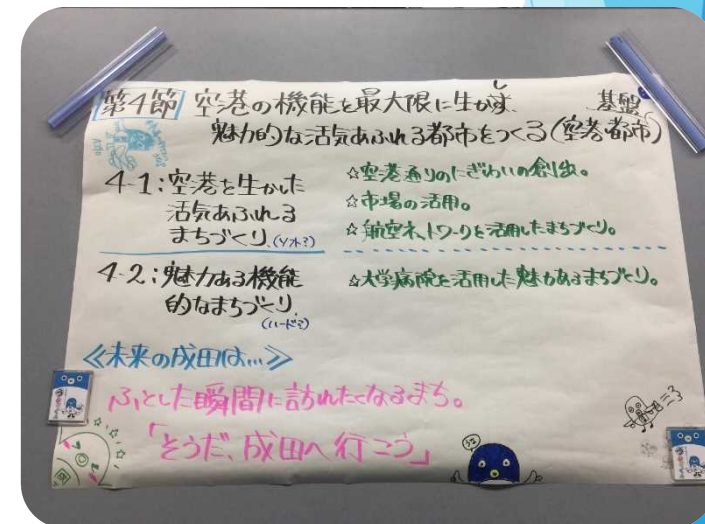
- ・ 空港周辺は緑が多い
- ・ 空港のおかげで他自治体よりも国・県道等の事業が進みやすい
- ・ 空港関連企業による税収も多い、雇用も多い

課題

- ・ 地域住民との協調
- ・ 空港発着の電車のダイヤが不足
- ・ 空港関連の従業員や家族等、住宅地の供給不足

改善点

- ・ 空港通りに商業施設を
- ・ 特区の活用



(3)グループ意見

■ 基本方向 第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

【グループ:5-1】

未来の成田は、

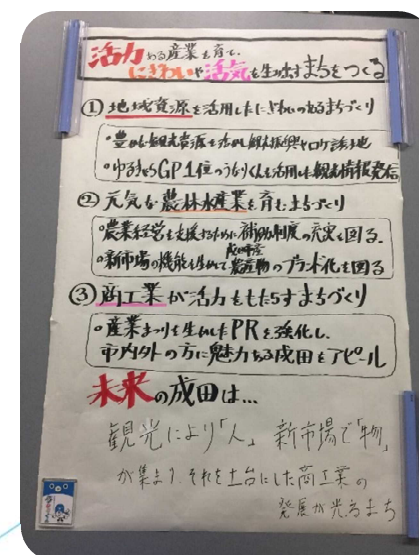
「観光により『人』新市場で『物』が集まり、それを土台にした商工業の発展が光るまち」

○グループ意見

- (1) 豊かな観光資源を活かし、観光振興やロケ誘致。ゆるキャラGP1位のうなりくんを活用した観光情報発信
 - ・ゆるキャラグランプリを獲得した「うなりくん」や、成田市御案内人の市川海老蔵さんなど、本市には観光資源が多くあり、観光関連の施策も多く感じるが、費用対効果が不明なまま進めているようにも感じる
- (2) 農業経営を支援するために、補助制度の充実を図る。新市場の機能を生かして、農産物のブランド化を図る
- (3) 産業まつりを生かしたPRを強化し、市内外の方に魅力ある成田をアピール

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史があり、観光客が多い ・新規の観光資源を創造している ・毎月の市場開放、イベントの実施 ・新生卸売市場の将来性
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興の費用対効果が不明 ・短期的な効果の施策が多い ・駅前に大型の商業施設がない ・市民等の意見を聞ける場の不足
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の増減をホテル宿泊者数(チケット購入者等)から把握し、コストパフォーマンスから重点施策を絞る ・輸出市場(空輸)で果物等をブランド化



(3)グループ意見

■ 基本方向 第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる(産業振興)

【グループ:5-2】

未来の成田は、

「商農工が連携することで、活性化が図られる。

地場産品のブランド化を推進したことで、持続可能な経営が可能な都市となる」

○グループ意見

(1) 有名な観光地を主軸とし、新たな魅力に目を向けてもらうよう。ツアー等の企画支援

(2) 新たな農業者を増やすため、仕組みづくりの推進。商農工の連携

- ・ 農業者の人口減が問題となっており、また、新規参入が難しく、収入も不安定なことから、ここを解決しないと観光資源が成長してこないのでは

(3) 成田産品のブランド推進支援

- ・ 新たな農業者人口を増やす仕組みづくりを行い、成田のブランド推進を行っていく

○付箋意見 (一部抜粋・原文ママ)

良いところ

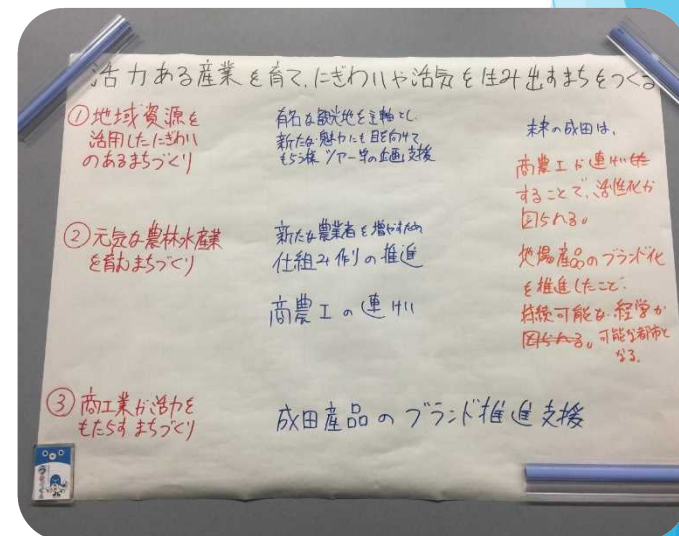
- ・ 国際空港がある
- ・ 成田山や祇園祭等での観光客が多数
- ・ 他市に比べて農道や水路が整備されている
- ・ 平地が広がっており、耕作条件がよい

課題

- ・ さらなる観光資源の発見・活用
- ・ 観光場所が限られている (駅前、成田山、空港など)
- ・ 実際に食べる機会を増やす手助けをする

改善点

- ・ 有名な観光地を主軸とし、その他にも目を向けてもらうようなツアー等の企画
- ・ 地産地消のシステムの検討 (市内で循環する仕組み)



(3)グループ意見

■ 基本方向 第6節 市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う(自治体経営)

【グループ：6-1】

未来の成田は、 「市民の意見が反映されるまち」

○グループ意見

(1) 地域の集会施設の集約や修繕を行う

- ・成田市には、地域住民が集まれる集会所などが充実している反面、施設の老朽化が問題となっている

(2) 学校跡地の利活用に地域住民の意見を反映させる。ネット環境を整える

- ・成田市は情報発信の媒体（広報紙、SNS等）が充実している

○付箋意見（一部抜粋・原文ママ）

良いところ

- ・市内の各地域に市民が集まれる施設がある
- ・学校跡地を活用し、地域住民が集まる場や、雇用の場として利用している
- ・定期的に市民満足度調査を行い、市民の意識把握に積極的

課題

- ・集会所などの地域の施設が古い
- ・学校跡地利活用について検討が必要
- ・DV相談を受ける専門の相談員が常駐しているとよい
- ・業務量は増加しているのに、市民活動の支援にかかる職員の数が少ない

改善点

- ・施設については修繕や立て直しを検討
- ・集会所を集約し、新たに建てる
- ・学校跡地利活用と関連し、地域のためになることを考える

